

花葉会総会

平成16年度の花葉会総会は、10月16日(日)午後2時より、芝パークホテルで開催されました。出席者は68名、定刻通り始まり、宮田幹事の司会で進行されました。

最初に安藤敏夫会長より、井出みえこ前代表幹事の死去について話があり、次に学内の近況報告がありました。「4月から古在豊樹先生が学長に就任し活躍されています。それに伴って学部内の人事も異動があり、前学部長の天野洋先生が千葉大学の理事に、園芸経済学科の菊池眞夫教授が学部長、私がセンター長に就任しました。また、上田善弘助教授が3月31日付で、岐阜県立国際園芸アカデミーに教授として赴任、9月1日付けで國分尚が助手から助教授に昇格しました。

センターは8月24日につくばエクスプレスが開業し、秋葉原から30分の柏キャンパス駅から徒歩5分の立地になりました。センターは園芸を基盤とし、人間の専門家とのハイブリッドで生まれた新しい学問を研究テーマにしています。エビデンス(科学的根拠)に基づく園芸療法を提言し、医食同源をテーマに薬膳を広めてゆく環境を整えたり、ケミカルフリータウン(有害物質を取り除いた住宅)が建築され環境の化学物質の研究が開始されます。千葉大学固有の学問を発展させて、今後大きく変換して行くことでしょう。毎年、新しいことが報告できると思います」と、締めくくられました。

次いで、午前中の幹事会で推薦された長岡求幹事長が議長に指名され、議事に入りました。議題は次の通りです。

平成16年度事業報告

7月24・25日
第21回花葉サマーセミナー
10月2日 総会
花葉会賞の贈呈
16年度の受賞者は板倉信夫氏(昭29別)、河野幹司氏(昭30)、原幹博氏(昭37)、高林成年氏(昭38)の4名であった。
6月27日~7月5日
第15回海外園芸事情調査
12月10日「花葉」24号発行
幹事会の開催は、平成16年4月24日、6月19日、7月25日、8月21日、10月2日、11月4日、平成17年2月5日、3月26日の8回。

平成16年度会計報告

収入の部

前年度繰越金	2,134,327
会報広告料(22号)	1,058,740
サマーテキスト売上	88,000
書籍売り上げ	4,500
卸用カタログ売上	53,000
協力金	34,720
セミナー収入	498,577
出版会計より	1,500,000
雑収入	335,465
預金利息	11
合計	5,707,340円

支出の部

印刷費	95,025
会報関係	1,586,169
通信費	136,690
運送費	8,020
記念品代	102,900
会議費	132,706
事務費	585,243
賃金	179,760
慶弔費	5,008
税金	70,000

雑費	153,631
合計	3,055,152円
差引残高	2,652,188円

2004年サマーセミナー会計報告

平成16年7月24・25日 日本歯科大学富士見ホールにて開催。
参加者数345名(うち幹事、講師、記者、発表者、学生等104名)

収入

受講料	
@30,000 × 202名	6,060,000
@27,000 × 37	999,000
@18,000 × 2	36,000
合計	241名 7,095,000円

支出

会場費	3,139,821
印刷費	720,975
運送費	210,400
講師謝礼	750,000
講師旅費宿泊費	936,244
通信費	30,500
事務費	369,128
会議費	300,000
税金	55,555
広告費	58,800
備品費	0
雑費	25,000
合計	6,596,423円
差引	498,577円

平成17年度事業計画案

第22回2005年
花葉サマーセミナー開催
平成17年7月23・24日(土・日)
日本歯科大学富士見ホール
花葉会賞の贈呈
第16回海外園芸事情調査
「花葉」24号発行
花産業必修1000属検定

平成17年度予算案

収入の部

前年度繰越	2,652,188
会報広告料	1,100,000
テキスト売上	50,000
その他の収入	400,000
預金利息	100
合 計	4,202,288円

支出の部

印刷費	150,000
会報関係	1,500,000
通信費	150,000
運送費	20,000
記念品代	120,000
会議費	200,000
事務費	300,000
賃金	400,000
慶弔費	50,000
税金	70,000
雑費	572,288
予備費	670,000
合 計	4,202,288円

基金報告

前年度残高	25,970,829
きよ金	1,314,940
定期利息	6,080
預金利息	14
合 計	27,291,863円

(平成17年3月31日現在)

役員改選

安藤会長より、井出みえこ氏の死去に伴い幹事名簿からの削除と、上田善弘氏転出に伴い、國分

尚氏を副会長にとの役員の一部変更の提案があり、拍手を持って承認されました。

その他

出席者より花葉会会員の名簿を作成頒布して欲しいとの要望が出ましたが、個人情報保護法の関係ですぐには答えが出せず、幹事会での検討事項となりました。

なお、それぞれの議題は、拍手をもって承認されました。

花葉会賞贈呈

総会終了後、花葉会賞の贈呈式がありました。鈴木司幹事より、落合哲平氏（昭30別了）、青島尚祐氏（昭31園卒）、千藤猛司（昭31別卒）、竹下大学（平1園卒）の4氏が紹介され、安藤会長より賞状と記念品が授与されました。

受賞者を代表し、千藤猛司氏より「身に余る光栄です。ありがとうございました」と、挨拶がありました。

田中桃三副幹事長の閉会の挨拶で、無事、総会・花葉会賞贈呈式は終了しました。

記念講演

國分尚氏が助教授・副会長就任挨拶を兼ねて「アメリカの植物園に勤めて」と題して、勤務されていた3カ所の植物園と携わって

た仕事について、スライドを交えて30分ほど講演をしました。

次に受賞者を代表して、竹下大学氏が「日の丸リーダーの一人として - 新規参入企業のサバイバル育種 - 」と題しての講演。育種する信条を吐露しながら、学生時代の思い出から現在までのことをユーモア溢れる語り口で話され、時々会場からは笑い声が上がりました。講演の後半は後輩へ向け、ご自身の経験を交えて、仕事や会社での生き方などのアドバイスとなっていました。

懇親会

午後5時より、田旗裕也・西原彩子両幹事の司会で懇親会が始まりました。最初に安藤会長より「2009年は園芸学部発足100年を迎えます。私たちは、この伝統の上に成り立っています。花葉会は様々な人材が居て、いい仕事をしています」と挨拶がありました。

次に花葉会賞を受賞された青島尚祐氏から「今日は名誉ある賞を頂き、ありがとうございました。幸せな“花の生涯”を終えることを期待しています」と挨拶があり、続いて、乾杯の発声を落合哲平氏が行いました。途中、今春転出された上田善弘氏の近況報告があり、和やかな雰囲気で行いました。閉会の挨拶は鶴島久男相談役が行いました。

(文責：編集部)

